



九条の会

九条の会奈良県ネットワーク運営委員会
 発行責任者 佐川愛子
 ✉ nara9jyonokai@gmail.com
 ☎ 090-9885-9756
<http://blog.goo.ne.jp/9naranel>
<http://www.nara9jyonet.com>
 45号 2020年11月4日発行



10月26日菅内閣の施政方針演説で「改憲」に言及。12月中に自民党が改憲草案を確定し、憲法審査会を強行する姿勢を示しています。奈良九条の会ネットワーク地域・分野でも世話人会議で学習・活動について論議を行い、出来ることをやっけていこうと進められています。

九条の会奈良県ネットワークへの2020年度の協力金をお願いします。
送付先: ゆうちょ銀行
 記号14530 番号27006271
 九条の会奈良県ネットワーク

九条の会奈良県ネットワーク主催「学習交流会」

9月29日(火)13時半から奈良教育会館4階大会議室において「学習交流会」を行いました。参加者は18名でした。学習会の講師は「池田順作氏(九条の会奈良県ネットワーク運営委員)」講演タイトルは「**新政権はアベ政治の忠実な後継者—アベ政治の8年を解剖する—**」と題して行われました。

講演内容

この1か月の政局を紹介

- 8月28日辞任表明。「憲法改正、半ばで職を去ることは断腸の思い」
- 9月11日安倍首相が敵基地攻撃能力の検討指示。これは憲法違反。
- 9月14日自民党総裁選で菅総裁選出、語ったことは
 安倍政治の継承と「自助・共助・公助」を強調
 大企業の利益優先、国民の貧困と格差を拡大してきた「アベノミクス」は継承
 憲法改悪は「政府としてしっかり挑戦したい」
 沖縄辺野古への米新基地建設は進めていく。
 「森友・加計」「桜を見る会」疑惑については決着済み
 河井前法相夫妻の大規模買収事件については「党のルールに基づいて行っている」
 政権の政策に反対する官僚は異動してもらう

さらに、「ジャパンライフ事件が意味するもの」「菅政権が引き継ぐ安倍政治の実態を改めて検証する」

「日韓問題の正しい理解のための追加解説；徴用工を発端とする日韓問題」など学習しました。

(講演資料全文を奈良九条の会ネットワークホームページに掲載しています。ご参照下さい)

2部：交流会

桜井；3人以上集まればスタンディングを行っている。

釣り人；8月9日新婦人主催平和まつりで空襲体験を語る。子どもたちが参加。話を聞いてくれる。

登美ヶ丘；街宣中心の活動。DVDを見たら「政治・戦争の話」のおしゃべりをお茶の会に参加する。相手に伝えてどういう活動に参加してもらうのか、どういうものを準備するのかむつかしい。自分の足でポスティングしている。具体的な資料、話をした事がない人に話をするにはどうしたらいいのか。「じいじからのお願い」をチラシにして配布する。「人が人を殺す戦争が嫌い。だから九条の会に入る。やめさせるために何かやらないといけない」

河合；「街宣」はしり込み。ポスティングで変えていこうと70号編集中。市民連合2区で候補者を一人に絞らなあかんやろと思う。投票率が上がれば野党は勝つ。狭い河合町の中でもやっていきたい。

広陵；6月から世話人会を開く。19日行動再会。3000万署名1501筆になる。発議に反対する主命が盛り上がり欠ける。6/19は4人参加、50枚のチラシ配布。7/19は11人参加、6筆。8/19は10人21筆。9/19は10人15筆。10/19は五位堂の予定。継続していきたい。広陵9条の会のニュース発行、憲法の中味を知らせたい。憲法改憲、3年間させなかったのは大きな成果。

三郷；半年休んでいる。王寺町の大きな行事に参加、19日街宣、ビラ配布、署名、大きなプラスターを作る。

生駒；月に3回活動。3の日、9の日、19の日。4月・5月休む。6月再開。月2回9日19日行動。プラカード・横断幕をもって並んで訴える。スピーカー、ハンドマイクで訴える。月1回ニュース発行。400軒配っている。

生駒南九条の会；6月に1周年記念を延期。壺分小・生駒南小の校区。11月1日に学習会を行う。

生駒鹿ノ台；9月20日に「第15回平和のつどい」を行う。講師の前田徹生桃山学院大学名誉教授の話は分かりやすかった。2500世帯5000枚撒く。75名が参加。草の根の活動でいろんな人を入れていきたい。「サンダル履いて平和を語り合おう」

生駒；街宣行動に皆さん参加してくれ、署名活動をやってくれ定例化している。

安保法制強行採決から5年。9月19日に奈良でも各地で

広陵九条の会；法違反の安保関連法（戦争法）の強行採決からまる5年の9月19（土）、広陵9条の会も全国各地の行動と連帯して恒例の19の日宣伝・署名行動を商業施設エコーマミの2階南館／北館連絡通路で15:45～15:30までおこない10人が参加しました。奈良広陵9条の会の幟2本、「アメリカの兵器爆買いやめコロナ対策にまわせ！」「憲法生かして生活守ろう！」「憲法変えるな政治を変えよう！」などのアピールボードを掲げ、両側のフェンスにはいつもの約4mの「若者を戦場へ行かせない」の横断幕と新たに約5mの「消費税を5%に戻そう！」の横断ボードを張り出してビラ配布と署名の訴えを行いました。「戦争法は、私たちが指摘してきた通りアメリカと共に戦争する国づくりであったこと、戦争法を廃止し、敵基地攻撃能力の保有を阻止する以外にないこと、菅政権に引き継がれた9条改憲を市民と野党の共闘を発展させて阻止しましょう」と訴えました。短い時間でしたが、ビラの受け取り115枚、改憲発議に反対する署名が15筆集まりました。（下村）



生駒九条の会；生駒駅にはプラカードや横断幕で15名が参加、マイク宣伝は1時間。署名用の画板は持てなかったが、それでも署名したいという方があり、核廃絶署名8筆、改憲反対9筆の署名が集まりました。



香芝九条の会；9月19日香芝九条の会はエコーマミで「安保法制廃止、立憲主義回復を市民に訴える」宣伝行動が行われ、参加した15名がビラ220枚とティッシュを配布。参加者がガリレートーク。「アベ政治を継承するという新政権は憲法改悪の立場を示しています」「昼夜を問わず救援活動に取り組む自衛隊の皆さんを海外の紛争に出動させ一人でも命を落とすことをさせてはなりません」などを市民に訴えました。次回11月9日16時近鉄五位堂駅北口

河合九条の会「九条の会看板」この畑に沿った道は細い道ですが、西大和ニュータウンの通勤・通学者が朝晩通る近鉄大輪田駅への近道道路になっています。通行者は「端的な主張が鮮やかな大きな字なので良く判る」「歩いている目の高さなので身近に感じる」など好評。写真は色がくすんでいますが、実物はもっと鮮やかな色です。この畑の持ち主は「河合九条の会だより」の愛読者で全面的にご支援をいただきました。

11.21「平和といのちと人権を守る政治に！」

日時：11月21日（土）14:00～15:00

場所：JR奈良駅東口広場

主催：奈良1区市民連合

憲法九条の会鹿ノ台校区主催「第15回平和のつどい」が9月20日行われました。60名の市民が参加。桃山学院大学名誉教授前田徹生氏が「憲法が守るもの・憲法を壊すもの・コロナ禍の中で憲法の大切さを学ぶ」と大しいえ講演。前田氏は「憲法とは国民の人権を守り、権力者に向けられた規範と説明。安倍政権下での改憲論議は集団的自衛権容認の閣議決定を含め、国民の人権を縮減し、統治権力の拡大を図る」と指摘しました。感想として、「人こそ日本の資源、教育の大切さを語っていただいた」「憲法改正が何を意味するかがよく分かった」など好評でした。女性合唱グループの素敵な歌声が会場に響き渡りました。